

お礼の言葉

この度は、奨学金のご支援をいただきまして、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。自分の日頃の努力が認められ、確実な成果に繋がったとしみじみ実感しています。

私は 2021 年に留学生として日本にきました。その時、中国の大学で学んだ日本に関する知識はまだ足りないと思い、日本の社会、文化、歴史などをより深く理解するために、日本への留学を考えました。日本は豊かな文化を持ち、教育水準も高い国です。私は日本に留学して、自分を充実させたいと思い、自分の勉学を経て、日本の文化を肌で感じる事ができ、日本語の能力も向上させることができました。大学からの卒業を機に、さらに高水準な教育研究環境の下で自分を磨きたいと考え、大学院に進学することを決意しました。

大学院に入ってから興味のある分野についてより深い知識を身に付けることができました。

所属したマネジメント企業では、企業戦略やワークショップで様々なことを学ぶ機会を得ることができました。世の中が求めているものを探り、企業の平均寿命をできる限り延長させようと考え、容易ではなかったのですが、共に学ぶ仲間と協力してより良い結果を目指し、切磋琢磨することができました。

この経験は、私の将来の人生に大きな影響を与えるとともに、自身の成長につながったと感じております。この留学を通して学んだ多様な価値観や考え方を活かして、この先、国際的に活躍できる社会の一員となれるよう精進してまいります。また、ご支援いただいた皆様に恥じない人間になっていきたいと思っております。充実した留学生活を送り、貴重な体験をすることができたのは皆様からのご支援のおかげです。誠にありがとうございました。

奨学生代表

大学院工学研究科 修士課程

電子情報学専攻 2年 李 瑋璋